

経済活動の活性化

都市部に「野菜直買の場※」を開設 (NPO法人 ひょうご農業クラブ)

安全、安心な農産物づくりや食を通じた福祉コミュニティづくりを推進するため、有機無農薬の野菜づくりと、その野菜を扱うレストランや販売所の運営に取り組んでいます。

これまで、農産物の直売所の多くは、産地近くの道路沿いにあり、車を使えないお年寄りなどは利用できませんでした。そこで、便利な街中で生産者と消費者をつなぐ「地産直買の場・よりあい野菜クラブ」を開設しました。

※直買：同クラブの造語で、必要なのは消費者主体の「買い場」であるという考え方から、「直売所」ではなく「直買」の場と呼んでいます。



職業能力開発・雇用機会拡充

障害のある人の働く願いをかなえる (NPO法人兵庫セルフセンター)

「障害のある人たちの働く願いと障害者施設・作業所の元気を社会につなぎます」を合言葉に、障害のある人たちの社会参加と授産事業振興を支援する団体です。施設・作業所のオリジナル商品がより広く消費者に受け入れられることを目的に、「神戸ふれあい工房」「通販ショップNUKUMORI」の運営などを通じて、受注・販売を支援しています。また、下請け仕事、就労・職業体験先の開拓など就労の機会の拡大に努めるとともに、各種セミナーを開催して、学習の機会をつくっています。



消費者の保護

安全と安心のまちづくりシンポジウムの開催 ～悪徳商法追放キャンペーン～

(淡路消費者団体連絡協議会)

「高齢者を狙った詐欺まがいの悪徳商法による被害が増加傾向にあることから、啓発グッズの配布やフォーラムの開催など、悪徳商法による被害を未然に防止するための啓発活動に取り組んでいます。

平成17年8月には、住民と行政、各種団体が連携し、地域の見守り体制を構築することの必要性について考えるため、「淡路から悪徳商法を追放しよう」をテーマにシンポジウムを開催しました。



ボランティア・NPOへの支援

地域が輝くための応援団 (NPO法人北はりま田園空間博物館)

北はりま地域の豊かな自然や歴史文化、さらには伝統産業のほか、住民の暮らしや活動まで含めた有形・無形の地域資源を博物館のサテライト（展示物）として登録・展示・情報発信し、支援することで地域を元気にしようと、住民主体のNPO法人を設立しました。

年5～10回実施している巡回ツアーの例として「都市と農村の交流のふるさとづくりをめざして、俵田地区17年の歩み」では、受け入れ先のサテライトである八千代区俵田地区のみなさんが、訪れた人たちに、自分たちの地域やそこでの活動を、パワーポイントを使って分かりやすく説明しました。

また、活動目的の1つに「サテライトを支援する」がありますが、直接活動を手伝ったり、代わりに活動をしてあげるのではなく、あくまでサテライトの自立的な取り組みを、その自立性を損なわない範囲でお手伝いすることが私たちの目的です。

